心育む　雪かき塾

～尾花沢中生　高齢社宅で除雪ボランティア～

平成25年1月22日(火)

1　班

1組 1班 氏名 倉金弘[illegible]

感想

ぼくら1組1班は、小関さん宅へ雪かきボランティアに行きました。最初はなんかめんどくさいなぁと思っていました。実際に着くとわきのかべが雪でうまっていました。家でも雪かきはしますが、ここまではしなかったので、腰や腕がつかれました。でもどんどん雪をかくにつれて達成感がでてきて楽しくなりました。最初はめんどくさく思っていましたが、今では少し好きになりました。家でも自分から雪かきをしてみたいと思いました。

1組 1班 氏名 大山凜太郎

感想

自分が訪問した先は、小関さん宅です。雪かきボランティアを体験して、スコップを使っての動きがとても大変ということが分かりました。最初はスコップであまり雪を取ることが出来ませんでした。だけど最後のほうになるとだいぶ雪が取れるようになってきました。とても良かったと思いました。

1組 1班 氏名 菅原千尋

訪問した先 小関さん宅

感想

雪かき塾は、大変でしたが、逆に楽しいものでした。

出かける前は、どのくらいの量の雪を除雪するのかわからず、知らないお年寄りの家を除雪作業するなんて、と思っていました。

作業場所は建物と建物の間に大量の雪が積もっていました。でも、班員と協力していくと、どんどん雪が減っていくので、全員で協力すると本当に早く進められることを実感しました。

全て終わった時は、大きな達成感を味わえました。作業前に積もっていた雪がすっきりしたのもそうだし、お家の方の小関さんが本当にうれしそうに何度も頭を下げてくださったこともうれしかったです。

普段私たちが充実した生活を送れるように協力してくださる周りの人へ感謝の気持ちを形に表すのは、とても良いことだと思います。

1組 1班 氏名 大美野聖

感想

僕は、今日の除雪ボランティアをずっと前から楽しみでした。当日は、小関さんのお宅を訪問し、家の周りの除雪をしました。そこで感じたことが二つあります。

一つは、人のために働くことは大変ということです。もう一つは、小関さんがありがとさんなっと言われたときに、とてもすがすがしい気持ちになったことです。

今日のボランティアは、僕にとってとても思い出に残るものになりました。

今日の活動に協力してくれたみなさんに感謝します。

1組 1班 氏名 加藤杏理

感想

調子が悪くて行けなかった。

できれば、一緒にボランティアに参加したかった。

1組 1班 氏名 松田妃那

感想

私は小関さん宅に訪問しました。最初は面倒くさいと思ったけれど、訪問先のおばあちゃんはやさしく、いつの間にか雪かきに夢中になっていました。除雪ボランティアをしてとてもつかれたけど、誰かのために役に立つことができてよかったです。家ではあまり手伝うことがないので、これからは時々手伝うようにしたいなと思いました。このようななかなか出来ない体験をさせていただきありがとうございました。

3　班

1組 3班 氏名 舩山悠斗

感想

僕は、NPO法人はながさ地域活動支援センターに行って雪かきをしました。始めたばかりのときは、スムーズにできず、ぎこちない動きで、早く終わしたいと思っていました。しかし、同じ班の友達と話したりしていくうちに、作業もスムーズにできてきて、楽しんで除雪できるようになりました。雪かきボランティアを体験して、地域のための活動を通して、新しい発見ができると思いました。これからも、積極的にボランティアをしていきたいです。

1組 3班 氏名 三浦祐一

感想

NPO法人「はながさ」地域支援センターで雪かきボランティアを体験して、最初は雪かきなんて簡単だろうと思っていましたがいざやってみると思いのほか雪が重く遠くに投げるのがやっとでした。しかし、ボランティアとして参加しているのに簡単に根を上げれば、やっている意味がないと心に言い聞かせて作業に取り組み自分の思う以上満足のいく結果が出せたと思いました

1組 3班 氏名 菅原魁

感想

私は、今回の除雪ボランティアをすると聞いて疲れるからいやだなと思っていました。当日は、NPO法人はながさを訪問し建物の周りを除雪しました。そこで感じたことが二つあります。一つは人のために働くことは思ったより疲れたということです。もう一つは指導者の方から「腕が入ってきたね」と言われたときに、とてもうれしい気持ちになったことです。今回のボランティアは、私にとってとても思い出に残るものになりました。今回の活動に協力してくれたみなさんに感謝します。

1組 3班 氏名 三坂優佳

感想

私は、NPOはながさに訪問し、雪かきボランティアをしました。

雪かきボランティアに行く前は、寒いから嫌だなと思っていました。しかも、自分の家ではなく他人の家なので少し緊張していました。しかし、実際にやってみると指導員の方が手伝ってくださいました。当日は少し雨が降っていて雪がしめって重くなっていました。それでもがんばって運びました。どんどん雪がなくなっていくのが分かって、とてもうれしかったです。雪かきが終わった後はとても達成感がありました。雪かきボランティアができて良かったです。このような機会を設けてくださったみなさんに感謝したいです。

1組 3班 氏名 大貫美葉子

感想

正直いうと私は家での雪かきをしたことがなく、「私にもできるのかな…」というのが最初の正直な気持ちでした。でもだんだんやっていくと、とてもやりがいのある仕事だと感じられました。雪の大きなかたまりもあって結構大変でした。でも、その雪を流雪溝に落とすたびに「うれしい!」という気持ちがこみ上げてきました。また、雪かきというのは「つかれる」ものであり、その「つかれ」こそがたくさん雪かきした証なんだなと思いました。背中にタオルを背負っていたのですが、それがだんだんと重くなるたびに「あ、自分は汗をかいているんだな」と実感することができました。

2　班

1組 2班 氏名 三上未来

感想

昨日、柴崎さんの家に雪かきボランティアに行きました。

最初はめんどくさいなぁと思っていたけど、雪かきをやっているうちにどんどんやる気になってきていました。

指導者の方にやり方を教えてもらって、班の人と協力して雪かきをしているうちに、どんどん楽しくなって、ペースも速まってきました。

最初の頃より上手に除雪作業を出来るようになっていました。

指導者の人に「あと30分位だな」と言われると「え、あと30分!?」と思ってしまうくらい熱心に雪かきしていました。

雪かきボランティアを終えて、柴崎さんに「どうもありがとう」と言われた時はすごくうれしかったです。家でも雪かきがんばろうと思いました。

1組 2班 氏名 押切恭平

感想

除雪ボランティアで、僕は、柴崎俊一さん宅の除雪をしました。自分の家の雪かきはするけど、他の人の除雪をするのは初めてで、少しとまどいました。大変だと聞いて家に行ってみると、車庫のように高い雪山がそびえ立っていました。お年寄り一人ではできなくて当然だと思いました。そこで、班の人全員で協力して雪山の半分より少し多くの雪を運ぶことができました。

自分の家の雪かきをした時よりも、達成感が大きくて、やってよかったと思います。

1組 2班 氏名 高橋捷

感想

僕は、柴崎俊一さん宅に訪問して除雪ボランティアをしてきました。自分の家で雪かきの手伝いはあまりしないので最初は上手く自分から動いて活動できるかが心配でした。柴崎俊一さんの家に行くと、家と小屋の間に家の一階が埋まるくらいの雪が積もっていました。僕はその積もった雪の一番上にのり雪を落とす作業を行いました。初めは簡単だと思ったけれど水を含んだ雪があたりしてとても大変でした。その後に小屋の屋根に積もった雪の落とし方を教わり、そのやり方がとても簡単で勉強になりました。この経験を生かして家での雪かきを積極的にやりたいです。

1組 2班 氏名 高橋冬

感想

私は柴崎さん宅へ除雪に行きました。

柴崎さんの家にはたくさんの雪が山のようになっていました。始める前はこんなに多くの雪を除雪できるか心配でした。でも、指導者の方に除雪の仕方や安全にする方法を教えてもらいながら半分以上の雪を除雪することができました。終わった後はとても達成感がありました。

柴崎さんの家のように一人暮らしでたくさんの雪があるのは危険だなと感じました。私は普段、雪かきなどはしないけれど、これからは少しでも手伝おうと思いました。雪かきは命にもかかわる仕事なので、安全にできるように注意して行いたいです。

1組 2班 氏名 大場澪輝

感想

僕が訪問した所は、柴崎さん宅です。そこで、除雪ボランティアを体験して最初の頃は、「雪かきって疲れそうだな」と思っていました。だけど、雪かきしているとだんだん雪が少なくなるというのが目に見えて分かりました。その光景を見ていると雪かきするのが楽しくなってきました。終わった後の場所を見てみると、とても雪が少なくなっていて、とてもしたかいがありました。その時には、最初思っていた気持ちはなく、逆に「楽しい」と思いました。なので今度から自分の家の雪かきを積極的に手伝いをしたいと思いました。

1組 2班 氏名 大類咲希

感想

除雪ボランティアをして私は、よく家で雪かきをしますが、訪問した柴崎俊一さんの家には予想以上の雪に始める前はびっくりしました。こんなにたくさんの雪を一人で片付けるのは絶対に大変だと思いました。一人暮らしのお年寄りの方の力になれるのはすごくうれしいです。少しでも力になって地域の人を助けられるのはすばらしいことだと思います。地域の役に立てて、いい経験をしたと思います。

4　班

1組 4班 氏名 藤野太一

感想

僕たち4班は、一人暮らしの清藤ハルノさん宅に「雪かき塾」除雪ボランティアに行きました。始めは、どれくらい雪があるのだろうと疑問を持ちながら行きました。初めてハルノさん宅を見たら雪がけっこうあり、「やってやるぞ」と思いました。始めてから少したったところでみんなと分かれて除雪をすることになりました。2時間がたとうとしたとき、あらためて除雪をしたところを見ると初めてきたときよりも、とてもきれいになり、きもちよかったです。2時間たってみても思うほどつかれを感じませんでした。僕はこれでいろいろな人と協力し合うという大事なことを学びました。

1組 4班 氏名 佐藤美恵

感想

私達は、清藤ハルノさん宅に行き雪かきボランティアをしてきました。ボランティアをする前は、どんなおばあちゃんがいるか、うまく雪かきできるか心配でした。しかし、雪かきを教えてくれた指導者の方や班の仲間と協力して一生懸命雪をほりました。雪は案外かたく、スコップでくだこうとしてもなかなかくだけなくて苦労しました。そして体力の消もうも早くて大変つかれました。私は雪にぬかってぬけなくなったり、雪につかって転んだりして大変な思いをしました。しかし、こんな機会をつくってくれた先生や市役所の人達に感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。

1組 4班 氏名 林達也

感想

僕は今日除雪ボランティアをすると聞いて少し面倒だと思った。当日は、清藤さんのお宅を訪問し、家の周りの除雪をしました。そこで感じたことが二つあります。

一つは人のために働くことは大変だということです。

もう一つは清藤さんからありがとうと言われたときに、とてもすがすがしい気持ちになったことです。

今回のボランティアは僕にとって、とても自分を成長させるものになりました。

今日の活動に協力してくれたみなさんに感謝します。

1組 4班 氏名 本間ひろ

感想

私達は、清藤ハルノさん宅に訪問して、雪かきをしてきました。

私は最初はどうしてわざわざ知らない人の家に訪問して雪かきをしてこなきゃいけないんだろう、と思っていました。

でも、終わった後は、すごく雪かきをさせていただけて、良かったと思いました。ものすごく沢山あった雪も、きれいさっぱりなくなりました。班の人と協力して効率良く雪かきをすることが出来ました。きれいになったのを見て達成感がありました。清藤さんから「ありがとうございます。ご苦労様でした。」と言われた時はすごくうれしかったです。今回雪かきボランティアに協力して、指導してくださった方々にも感謝したいです。普段私は雪かきをしませんが、少しは手伝おうかなと思いました。

1組 4班 氏名 吉田周平

感想

僕達は清藤ハルノさん宅へ行って、除雪ボランティアを行なって来ました。

自分の家以外の雪かきするのは初めてだったのでどのくらい雪が積もっているのだろうと思っていました。行って見た時に、この量が2時間で終わるのかと心配に思って、雪かきを始めました。2つに分かれて、どうすれば効率良く行えるのかを考えて、とてもスムーズに雪かきをすることができました。雪かきをやっているうちに、近所の方々が声をかけてくれたり、スノーダンプを貸してくれたり、近所の方々の支えもあって、とても多い量を短時間で除雪ができました。ボランティアが終わったらとてもスッキリした気持ちになりました。

1組 4班 氏名 間宮理恵

感想

私は、清藤ハルノさん宅に訪問して、除雪してきました。最初はつかれるから嫌だなと思っていました。しかし、清藤さんは、ボランティアに来た私達にとても親切にしてくださり、「つかれるから嫌だな」という気持ちがなくなってがんばろうという気持ちになりました。それから、雪かき作業をもくもくとやって終わった時に、清藤さんは「ありがとう」と言ってくれました。こんなに感謝されると思っていなかったので、いざ言われたらとてもうれしかったです。除雪ボランティアは大変だったけれど、喜んでくれたおばあちゃんの顔を見たら、とてもやりがいを感じました。そして、こんないい機会を作ってくれた方々に感謝したいと思いました。

尾花沢中学校
２年１組

主催：尾花沢市民雪研究会
協力：尾花沢市建設業協会　宮沢地区雪プロジェクト　尾花沢市社会福祉協議会　やまがたゆきみらい推進機構